

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

取組事例編 10

今回は、信州型コミュニティスクール(以下、信州型CS)において、学校と地域をつなげ支える市町村教育委員会にスポットをあてた事例を紹介します。また、通学合宿、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)(以下、国CS)の動向と信州型CSの来年度の方角について紹介します。

安曇野市教育委員会の取組：

「地域とともにつくる学校、地域に根ざした魅力ある学校」を支える教育委員会

～安曇野市の教育委員会の支援～

- コーディネーター養成研修会開催
- 学校職員・コーディネーター・ボランティア等の合同研修会開催
- コーディネーターネットワーク連絡会(情報交換会)
- 学校へ訪問し、学校支援の様子を参観、ニーズの把握
- 学校やコーディネーターの取組の事例提供等
- 信州型CSにおける必要な予算



安曇野市信州型CS担当の宮川さん

宮川さんは、校長先生や教頭先生、コーディネーターと話をしながら学校の教育活動を理解し、教育委員会として支援が必要な時は自ら出向いて関わっています。

【来年度の総合的な学習の時間を検討】

コーディネーターより提案

地域の方が入って学び合うことは、心配なこともあるけれど、それ以上に、プラスのことの方が多いから前向きに考えたいです。(校長先生)

地域の方と一緒に学び合えるので、生徒たちにとっては学習の幅が広がります。先生たちと一緒に考えていきます。(教頭先生)



このような取組をやっている学校へ見に行ったらイメージが持てますね。実践校を探してみます。(宮川さん)

来年度の総合的な学習の時間に地域の方も生徒たちと一緒に参加できるようにしたらどうでしょうか。(コーディネーター)

信州型CSは、「子どもたちのために」と思いを共有しながら意見を出し合い、連携・協働のもとで進められています。そこに、教育委員会のバックアップがあることで、学校は安心して取組をより広げていくことができます。

(中信教育事務所生涯学習課 指導主事 三溝 和美)

松川町教育委員会の取組： 町全体でビジョンの共有に向けて

教育懇談会

松川町では、地域の方と教育委員会及び関係者とが、町の子どもたちの教育について意見交換を行う「教育懇談会」が毎年開催（年2回）されています。



今年度も8月29日に第1回教育懇談会が開かれました。町内三校の学校関係者、保護者、支援ボランティア含む地域の方、公民館、教育委員会など、子どもに関わる関係者が一堂に会し、「地域と学校が連携する学校支援体制について」をテーマに意見交換が行われました。また実際に子どもたちの思いや感想を聞いてみたいという願いから、昨年度より中学校の生徒にも参加してもらっています。

お互いの思いを共有する

会議の中では、それぞれの立場から学校支援に関わる率直な感想や思いが語られました。



地域の方

2・3回学校に行くと顔を覚えてくれて、行くのが楽しみになり、生き甲斐になっています。これからも、積極的に関わってきたいです。



先生

地域の方はみんな優しく元気になるし、話しやすくて安心して勉強できます。



生徒

地域の方の温かさに感謝です。地域の方とさらに協力して、共に子どもを育てていきたいです。

松川町教育委員会



毎年行っているこの教育懇談会が、地域と学校がより一層連携していくためのよい機会になればうれしいです。

教育懇談会は参加した生徒たちにとって、普段なかなか聞くことができない学校や地域の方の思いを知り、感謝の気持ちや自立心の芽を育む大事な成長の場となったことでしょう。また、地域の方や学校にとっても、自分たちの活動の他にどんな支援活動があるのか、またどのような願いで行っているのかなどを共有するよい機会となりました。

参加した生徒の意見を大切に、今後、学校・地域のさらなる連携・協働に向けて、「町全体で子ども達を育てていこう」とする願いが共有されました。

(南信教育事務所飯田事務所 指導主事 中上 敬介)

通学合宿紹介： 「川路で育てる川路の子ども」飯田市川路通学合宿

通学合宿とは、地域の公民館・集会所・青少年施設など宿泊可能な施設で、異年齢の子どもたちが共同生活を行いながら学校へ通うものです。県内では、28年度26市町村で行われました。今回は、公民館が中心となって行う飯田市川路通学合宿の取り組みを紹介します。

＜H29年度 川路通学合宿＞(H24年度より毎年実施)

主催：川路公民館 **共催**：まちづくり委員会、小学校、小学校PTA
【実行委員会のメンバー】(※実行委員長は公民館・小学校より一名ずつ)
 公民館：公民館長(実行委員長※)、公民館企画会議議長、公民館主事
 小学校：校長先生(実行委員長※)、教頭先生、学年担任
 保護者：現PTA会長、次年度PTA会長、保護者代表、学年代表
 まちづくり委員会：教育育成委員長
 関係団体：料理クラブ代表、主任児童委員
 その他(有志)：元主任児童委員(委員会座長)、元教育育成委員長、元PTA会長、元学年代表など

○開催日：
6/7(水)～10(土)
(3泊4日)
○場所：川路公民館
○参加：川路小学校
5・6年
24名(希望者)
○スタッフ：33名

子どもの主体性を大切に！

食事の準備では児童たちが生き生きと調理をしていました。以前は、スタッフが立てていた献立を今は児童たちが立てるようにしたそうです。すると、ある6年生の男の子は、家で調理の練習をしてきました。スタッフは、できるだけ手を出さず見守ることを心がけ、子どもたちの主体性を育てています。



調理を協力して行う児童とそれを見守るスタッフ

子どもの意識の変化

児童たちは、「風呂で騒いで一般の方に迷惑をかけないようにしたい。」「普段話さない5年生の子と仲良くなれた。」など、周囲の人を意識したり、人とのつながりの広がり気付いたりしていました。また、「包丁が使えるようになった。」など自分の成長を感じる児童が多く、通学合宿が自己肯定感を高める機会になっていました。

広がる地域のつながり

実行委員長の方にお話を聞くと「スタッフに30代、40代、50代の方がいて地域がつながっている。地域のお年寄りも通学合宿を気にして声をかけてくれる。」と言っていました。保護者の方は、「うちの子は、今年で小学校卒業だから来年はスタッフとして参加したい。」と言っていました。子どもたちが楽しく生き生きと活動している川路通学合宿は、地域の大切な行事として位置付けています。

川路地区では、通学合宿が核となり、地域のつながりを広めています。



最終日の交流会では、児童たちの考えた内容で、児童・保護者・スタッフが楽しい時間を過ごしました。

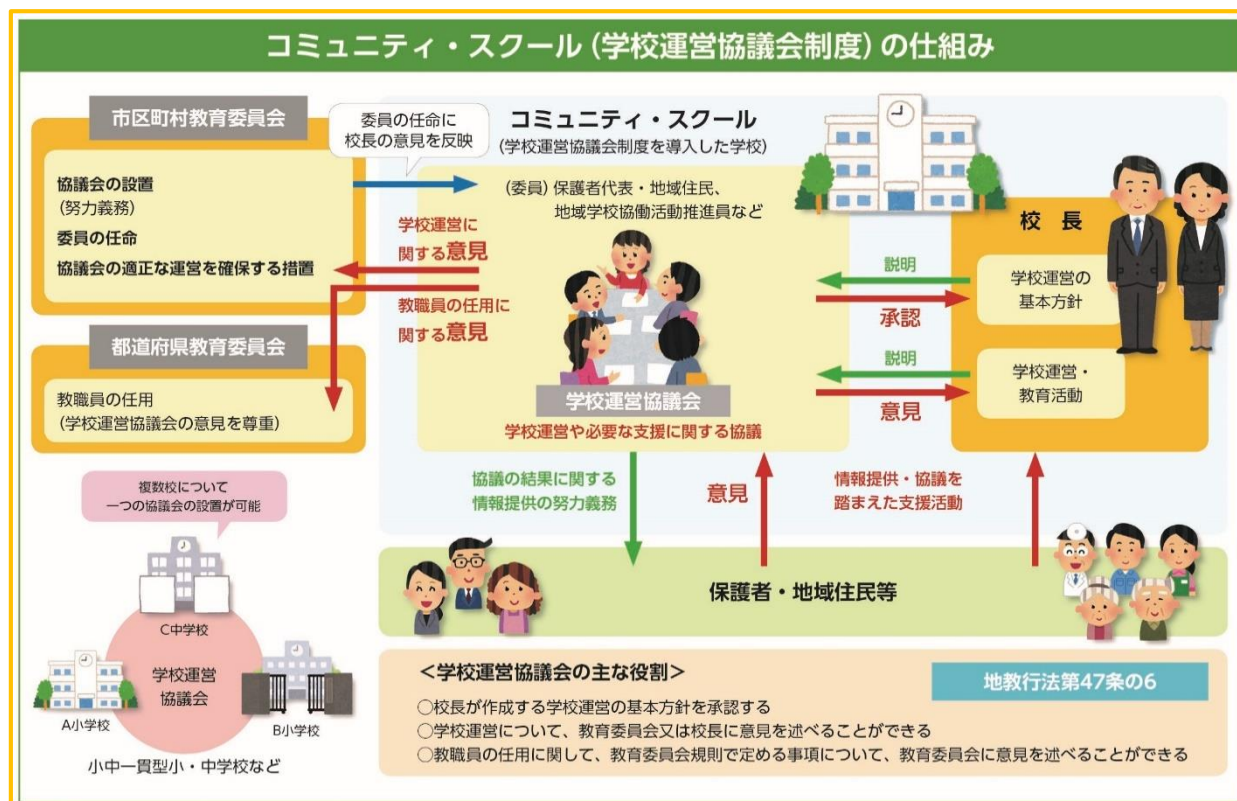
(文化財・生涯学習課生涯学習係 指導主事 池口 拓)

国C・Sの動向と信州型CSの来年度の方向：「地域と共にある学校づくり」を目指して

国C・Sの動向

文部科学省は、社会総掛かりで子どもを育む仕組みとして、地域住民が一定の権限をもって学校運営に参画する「学校運営協議会制度」を設けました。「学校運営協議会」を設置する学校を「コミュニティ・スクール」といいます。

H29.3月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）第47条の5」が改正され、「教育委員会は、(途中省略)学校運営協議会を置くように努めなければならない(同法第47条の6第1項より一部抜粋)」ことが明示されました。(設置努力義務化)



(出典：文部科学省コミュニティ・スクール2017～地域とともにある学校づくりを目指して)

信州型CSの来年度の方向

県は今年度末時点で信州型CS設置100%を目標としています。11月時点では、96.7% (信州型CS設置要件を満たすため、国C・S設置校含む。) となりました。しかし、何よりも大事なことは取組の充実です。県では、子どもも先生も地域の人々も笑顔になる「地域と共にある学校づくり」を目指し、引き続き、信州型CSの取組内容の充実支援を継続してまいります。また、国C・S設置努力義務化を踏まえ、設置を求める自治体や学校への支援も行っていきたいと考えています。

(文化財・生涯学習課生涯学習係 指導主事 井口 淳)

お問い合わせ先

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 [Tel: 026-235-7437](tel:026-235-7437) E-mail: bunsho@pref.nagano.lg.jp

東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252

南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861

南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460

中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977

北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552

長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

※この資料は、長野県公式HPからダウンロードできます >>> <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs.html>